

いたずらに月日は流れ、今年九月に誕生日がくると私は92歳になる。

むかし、私の父、母の時代だと大抵60代あるいは、長生きして70代で亡くなっている。今や、人生100歳の時代なのか。

むかしと今は、時間の観念がちがっているのか。兎に角、皆、長生きしていきな。

一日おきに行っているデイサービスには、100歳のじいさんが来ているが、見かけは70代くらいである。兎に角、ガンにさえならなければ、皆長生きするのだ。

結局、今や人生百歳の時代が到来している。ということとは、世界は至極平和なのだ。人類はもう、戦争にあきたのだ。本当にそうなのかどうかは、あと30年くらい経たないと分からない。

(重朝記)

